



特定非営利活動法人

News Letter
あい・友

第 17 号

2017 年 10 月

「障がい者、高齢者と一緒」という目標に向かって



前理事長の前田久美子よりバトンを引き継ぎました。皆様のご指導で懇情を賜りながら、全力を尽くして責を全うして参ります。夏のユニバーサルコンサートが皆さまのお力添えをいただいて無事終了し、ただいま力を入れていますことが、長野県青木村で始めて 4 年目となる 6 次産業化「芽子にんにく」事業です。まずはこの事業を拡大して黒字化する計画をスタートします。

これは大きなチャレンジですが、この秋に青木村の羊牧場の傍らに少し変わった形のドーム型の植物工場を建てて、芽子にんにくを水耕栽培します。周りからもたいへん目立つこの工場を礎に、これまでよりたくさんの製品をつくりだし、地産地消を中心にしながら、首都圏でも消費拡大を図ります。

青木村を拠点に収益を考える農園事業とともに、会の精神に基づき、音楽療法を中心とするチャリティ事業を引き続き実施して参ります。どちらもこれまで同様、障がい者や高齢者を元気にするという会の「大切」を真ん中に置いて、進路を進めます。晴れの日ばかりではなく、きっと雨の日も嵐の日もありますが、皆さまにご協力いただき、日々努力していく所存です。

(代表理事 中澤達彦)



▲青木村産業祭に出店 (2016 年 11 月)

新代表理事をよろしくお願ひいたします

NPO 法人あい・友が発足して、皆様のご協力・ご理解のもと、NPO の基本姿勢である二本柱を、ある程度の形まで立ち上げることができました。言葉では言い表せないほどの感謝と心からの御礼を申し上げます。ありがとうございました。

この度、青木村のあい・友農園が「認定農業者」の認定をいただきましたことを契機として、理事会の承認のもと、本格的な活動を開始する決断をさせていただきました。それに伴い理事長の交代をお願いし、中澤達彦が新たな代表として、後を引き継ぐことになりましたことをご報告させていただきます。若い力とアイディアと忍耐力で、新しい形の NPO 法人あい・友を作り上げてくれるものと信じており



▲2016 年度 定時総会の様子

ます。中澤はこの組織ができた時から、裏方としてずっと私と一緒に動いてきた人です。私としましても何の心配もなく、バトンタッチができる事を心から喜んでおります。しかしながら、メンバーの皆さまのご協力とご指導なくしては何もできません。私のときと同様にどうぞ、ご協力・ご指導、ご鞭撻のほどを心からお願ひいたします。これからは、私も一理事として、協力していく所存です。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(前代表理事 前田久美子)

つながる音楽に感動した！

『結～第2回ユニバーサルコンサート』



7月30日(土)、NPO 法人あい・友主催「結～第2回ユニバーサルコンサート」が品川区荏原文化センター大ホールで開催されました。すべての出演者・会場のお客様・スタッフ全員で作りに上げていく、「音」が途切れず続いていく、今まで誰もやったことのないコンサートにしたい、そんな思いででき上がったコンサートです。



■「結」で幕開け

ホールに外谷東ピアノトリオの生演奏が響き渡る中、500席の客席は午後1時の開演前にはほぼ満席の状態。まず、地元品川区の混声合唱団「コール若葉」がコンサートのテーマである「結(ゆい)」を歌い、コンサートの幕開けを告げると、続いて、バイオリン・笛・ギターを奏でるストリートバンド Pinch of Snuff の軽快な演奏。伊澤翔馬君の力強いドラム演奏。ピアノトリオによるジャズ演奏と切れ目なく奏されました。

トリオ演奏の後には、愛知県で活動している菅原江理也君の二胡の演奏。そののびやかな音色に会場全体が包み込まれました。品川区の少年少女合唱団が手話を交えた元気いっぱいのコーラスを聞かせてくれた直後、今度は通路中央で Pinch of Snuff の演奏が始まります。舞台と観客席がつながり、一つの音楽と別の音楽がつながり、会場全体が徐々に一つになっていきます。

■神輿も登場

そうこうするうちに舞台では音楽療法を受けている若者たちのグループ「MTC」の演奏が始まります。打楽器を中心に音楽療法士の先生と生徒とのピッタリ息の合った演奏を聴かせてくれました。



休憩をはさんで、小六囃子會による祭囃子が始まると、お祭りムードが一気に高まりました。すると、会場2階から「わっしょい！」の掛け声とともに滝乃川学園の手作り神輿が下りてきました。このころになるとお客様は立ち見が出るほどいっぱいになりました。

続いて福祉ダンスなどの創作指導を浦江千幸氏が「手のひらを太陽に」でレクダンスを披露。さらに、俳優座の岩崎加根子さんが谷川俊太郎作「生きる」を土方真雄君のピアノの即興に合わせて朗読しました。

■恋ダンスでフィナーレ

ふれあい作業所の音楽クラブの人たちのハンドベルの演奏に続き、



昨年第1回コンサートで一番人気を博したメロディ GIRLS が恋ダンスを踊ると、最後は観客も舞台上がり、東中延児童センターの「絆スタッフ」と竹内一馬君(ドラム)の演奏に合わせて星野源の「恋」を歌い、踊りました。



3年目に向けて新たな挑戦へ



コンサート終了後のアンケートには「来てよかった」「楽しかった」「どの曲も何度も聞いたり歌ったりした曲なのに、どれも素晴らしく新しい意味を持つ曲になりました」など、感動したというたくさんの方の感想をいただきました。また、「前回のコンサートよりグレードアップしていて、とても感激しました。次回も楽しみにしています」という来年も開催を希望する意見も数多くありました。来年は3年目になります。さらにいろいろな挑戦をして、見に来て下さるお客様にさらなる感動を与えられるようなコンサートをめざして頑張りたいと思っています。ぜひ来年も楽しみにしてください。



音楽でつながることは素晴らしい



このコンサートの目的は大勢の人たちが「音」でつながる（結ばれる）ことです。合唱団の歌う「結」はこのコンサートのテーマにぴったりだったので、合唱団「コール若葉」にお願いし、歌っていただきました。それ以降は、色々のジャンルの音楽、出演者が入れ代わり立ち代わり、切れ目なく出場し、次々と音楽を演奏しました。そして、曲によっては複数の団体が共演し、音楽と音楽を結びつけました。



二胡の菅原さんはこのコンサートで初めてジャズのプロミュージシャンと共演しましたが、「良い経験になった」と話しています。ハンドベルのグループもプロのジャズピアノトリオとのコラボで、「音楽のレベルが上がった」と喜んでいました。

共演は、音楽だけではなく、パフォーマンスにも各所で見られました。お祭りをテーマにした滝乃川学園の演奏では、「コール若葉」のメンバーがお祭りを盛り上げるために、はっぴや団扇まで用意し、客席から参加してくれました。多彩な打楽器演奏を披露してくれた音楽療法サークル MTC は、歌うだけでなく情景描写のパフォーマンスを取り入れて、会場を大いに盛り上げてくれました。

また、出演者だけでなくスタッフにも多種多様な人材が関わっているのもこのコンサートの特色です。コンサートには多くの障がい者の方たちに出演していただきましたが、普段音楽を通したコミュニケーションを指導している音楽療法士さんたちが黒子となって活動したことも大きかったと思います。

人とのコミュニケーションが苦手な竹内君がバンドの一員として、役割を持ってドラム演奏ができたことで本人は満足し、自信を得た、と言っています。ここでは太鼓の音ひとつとっても、ステージ、観客席、舞台裏にいる全員の心がひとつになります。初めて顔を合わせた人同士が音楽でつながることは本当に素晴らしいことです。

(NPO 法人あい・友理事 舞台監督 中島健司)

定時総会議事録

2016年度 定時総会 議事録

特定非営利活動法人 あい・友

- 召集年月日 : 平成29年 8月7日(月)
- 開催日時 : 平成29年 8月26日(土)
自 午後4時00分 至 午後5時00分
- 開催場所 : あい・友 東京本部
- 理事 および 正会員数 : 13名
- 出席した正会員数 : 8名
- 委任状を提出した正会員 : 4名

1、開会

定刻に至り、司会者 事務局 小倉明美が開会を宣言した。

2、代表理事挨拶

中澤達彦代表理事より、議事内容と現在の「あい・友」について説明がなされた。

3、議長、議事録署名人の選出

本日の出席者数の報告があり、本日の総会が適法に成立したことを述べ、議事進行上議長の選任方法を踏ったところ、出席者全員の推薦により、中澤達彦代表理事が議長に選出された。

続いて議長から議事録署名人名内に山内志津子監事、岩崎加根子監事を書記に小倉明美理事を指名により選出し、異議なく承認された。その後議案の審議に入った。

4、議事経過 および 議事別議決結果

第1号議案 2016年度 事業報告

第2号議案 2016年度 収支決算・会計報告

第1号議案について豊村泰彦副代表理事より、次いで第2号議案について小倉明美理事より説明

補足説明：第2号議案の受取寄付金は、コンサートの寄付によるものと補足説明が中澤代表理事よりなされた。

議長より上程された上記議案に対し、議場に踏ったところ異議・質問等がなく、挙手による採決を求めたところ全員一致で第1号議案および第2号議案は承認、可決された。

第3号議案 2017年度 事業計画案

第4号議案 2017年度 収支予算案

第3号議案について中島健司副代表理事より、次いで第4号議案について小倉明美理事より説明

質問：第3号議案 (2) ③プロジェクトによる生産物や商品の販売事業のうち青木村の芽子にんにくについて今後、展開を広げる予定はないのでしょうか？
回答：考えて、ただいま検討中であることの説明が代表理事よりなされた。また、第3号議案 (2) ②雇用者の紹介および就業支援事業のうちで障がい者を土耕で使う事は難しいことや青木村での潜在障がい者は37名位いるのにその雇用についても問題が山積しているとの説明もなされた。

質問：第4号議案 ⑤販売事業の内容についてはどのように考えているのですか？
回答：首脳部を含む大手3社への展開をすることにより安定供給を考えている。定期的に商品を提供できる事が大切で、現在はそのため活動している。

質問：第4号議案 人件費についてどのように考えていますか？

回答：障がい者も高齢者も通常の賃金を考えている。

質問：第4号議案 受取寄付金について長野県元気づくり支援金について今年度が最後の説明でしたが 今後をどのように考えていますか？

回答：「あい・友」が認定農業者に認められたことにより政策金融公庫にお借りして融資することをめざすことを考えている。このことは今ある費用の中で働くことは出来ないのかと何年も考えた上での決断であるとの説明がなされた。

議長より上程された上記議案に対し、議場に踏ったところ異議・質問等がなく、挙手による採決を求めたところ全員一致で第3号議案および第4号議案は承認、可決された。

5、閉会

以上をもって本日の議事はすべて終了したため、議長は閉会を宣言した。

なお、本議事録が正確であることを認めるため、山内志津子監事および岩崎加根子監事は、下記に記名捺印する。

平成29年8月31日

議長

議事録署名人

議事録署名人

中澤達彦
山内志津子
岩崎加根子

お知らせ

キッチンカーで芽子にんにく料理をお披露目

11月中旬 青木村産業祭イベントで

あい・友は、来る11月18、19日の2日間、長野県青木村で、あい・友・農園で育てた芽子にんにくを使った料理を東京の有名シェフが調理し、キッチンカーで提供するイベントを開催します。青木村のふるさと公園あおき及び道の駅あおきで毎年開く青木村産業祭・新そば祭りに合わせて開催するもので、村内外から来場される多くの方に芽子にんにく料理を堪能していただくことにしています。

調理するのは、東京・目白のラ・ムジカの梶村シェフと同六本木のビストロQの山下シェフ。メニューは、1日目が「羊肉と芽子にんにく」、2日目が「ミートボールと芽子にんにく」で、2日間で600皿を作る予定です。1皿は500円で販売します。

あい・友では、農園のある長野県青木村で6次産業化を推進するため、2015年から青木村産の芽子にんにくの普及・振興事業に取り組んでいます。産業祭では毎年、その年に収穫した地元産新にんにくから加工した芽子にんにくを試食していただきましたが、今回は一流のシェフによる調理で、さらに芽子にんにくの美味しさを味わっていただくことにしています。



発行日：2017年10月1日
 発行者：特定非営利活動法人あい・友
 本部：〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-38-5
 TEL：03-3485-1793 / FAX：03-3469-5312
 支部：長野県小県郡青木村殿戸 206-3
 発行責任者：豊村泰彦

あい・友の活動に参加しましょう！
 詳しくは下記へ
 TEL：03-3485-1793
 mail：jimukyoku@aiyuu.org
 HP：http://www.aiyuu.org/